

奈良県立大学生協 アルコールパッチテスト企画



[健康と安全]

取り組み概要

日時：12/23(月)、24(火) 11:30～15:15
場所：食堂
参加者数：各日50人、計100人
幅広い学年の学生や教職員など、さまざま
な階層の組合員が参加した。

背景や概要：忘年会や同窓会などお酒を飲む機会が増える年末年始のシーズンに合わせ、アルコールの危険性やお酒との付き合い方を伝える企画を行った。

組合員の現状や生活を意識した企画づくり

POINT.1

年末年始のシーズンに合わせた注意喚起



忘年会・新年会や成人式後の同窓会など、お酒を飲む機会が増える年末年始のシーズンに合わせて企画を行うことで、お酒によるトラブルの未然防止に繋がっています。学生委員が自分たちの準備のしやすさからではなく、組合員の生活を考えて開催時期を設定しました。

アルコールパッチテストという気軽に参加できる内容だったので、成人式を控える学生だけでなく、教職員やまだお酒を飲めない年齢の1年生など、さまざまな階層の組合員が興味関心をもって参加していました。

POINT.2

「お酒との付き合い方」の案内

当日配布資料に加え、公式SNSでも「お酒との付き合い方」について案内をしていました。生活習慣病のリスクを高める飲酒量と、そのアルコール摂取量の目安をお酒の種類ごとに示すことで、宴会の時だけでなく長期にわたって健康を意識してもらうよう工夫されています。

当日配布資料の裏面にはアンケートフォームの二次元コードを記載し、アルコールパッチテスト企画の参加者がどこでこの企画について知り、何を新しく学んだのかを調べることで、組合員の企画に対する反応を把握し、次の企画に繋げることができていました。



POINT.3

共済加入・共済マイページ登録の推進も



参加者がアルコールパッチテストの結果が出るまで待っている間に、共済加入や共済マイページ登録の案内も行っていました。「みんなの共済」という共済に関するセミナーに参加して学んだ、加入・給付・報告・予防の「共済活動の4本柱」を意識していることに加え、共済の認知度と加入率が低いという奈良県立大学生協の組合員の現状を踏まえて企画が作られています。